



<今月のご案内>

黒松内生物多様性保全奨励事業

ブナセンター賞 成果発表会

黒松内町では、町の生物多様性の保全・活用に寄与する研究を助成しています（ブナセンター賞）。成果発表会とは、助成を受けた方がその研究成果を、町民の皆さんにわかりやすく発表してくださる場です。お話を聞いて、黒松内の生き物や自然の面白さを感じてみませんか？

【日程】2月26日（木）17:15～19:30

【場所】役場1階 コミュニティ防災ホール

【発表者】令和7年度受賞者 三枝弘典氏（北海道大学）
令和6年度受賞者 深澤 遊氏（東北大学大学院）

【申込み】不要 【参加費】無料

【その他】時間内入退場自由（詳しくは別紙チラシにて）

【プログラム】

17:00～	ブナセンター賞授賞式（三枝氏）
17:15～	三枝弘典氏 <中間発表> テーマ：朱太川のヤツメウナギ かつては身近な生物だったヤツメウナギ。数が激減して絶滅危惧種に指定されています。現在、朱太川でのヤツメウナギの生息状況・生息環境を調査研究中。
18:00～	深澤 遊氏 <成果発表> テーマ：黒松内のブナ枯木の腐朽菌 枯木は森の中の多様な生き物のすみかとなっています。ブナ林内のブナとミズナラの枯れ木に含まれる菌類を全国の森と比べてみました。
18:45～	質問タイム
19:15	閉会

まだ見ぬイタチ科をさがして



歌オブナ林では、2024年からセンサーカメラによる動物調査を行っており、森にすむ様々な動物の様子を垣間見れるようになりました。

しかし、カメラの前でのんびりしてくれる動物は少なく、姿が写っていても何の動物なのか悩んでしまう写真もたくさんあります。

似たようなシルエットですが、テンよりは体が小さい？
北海道に生息するテンの仲間（イタチ科）には、ニホンテン※・エゾクロテン・ミンク※・ニホンイタチ※・エゾオコジョ・イイズナ・ラッコがいます。黒松内で記録があるのは、ニホンテン・ニホンイタチのみですが、ほかの種類のイタチ科も生息しているかもしれません。

※はもともと北海道には生息していない種類です。

<テンより体の小さなイタチ科4種の足跡>

（門崎(2009)より一部改変）



雪が積もった日は、このような動物の足跡を見つけるチャンス。アヤシイ足跡を見つけたら、ぜひ計測を。目撃情報お待ちしております。

写真2に写っていたイタチ科は何の種類でしょうか？また、黒松内には何種類のイタチ科がいるのでしょうか？それを知る手がかりは、「足跡」にあります。ミンク、ニホンイタチ、エゾオコジョ、イイズナの4種は、泥や雪の上についた足跡の横幅・開脚幅の大きさのちがいによって、識別が可能であることが分かっています。

参考文献：門崎允昭(2009)野生動物調査痕跡学図鑑。北海道出版企画センター p.122～136

100 歌オブナ林は2028年に天然記念物指定100周年を迎えます



FacebookのQRコードはこちら

発行所：黒松内町ブナセンター
〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内512-1
TEL 0136-72-4411 FAX 0136-72-4440
MAIL bunacent@host.or.jp HP <https://bunacent.host.jp>
FB <https://www.facebook.com/kuromatsunai.bunacent>

森へ行こう 2月

満月の ブナ林

雪に包まれた、静かな夜のブナ林。
月に照らされて、雪面に映るブナの梢。
幻想的な満月のブナ林を歩きましょう。

2月2日(月)

17:00~21:00

場 所 歌オブナ林

定 員 20名

(町民優先。小学生以下保護者同伴。)

参加費 300円

※ブナさぼは無料

集 合 歌オブナ林駐車公園

(17時)

持 物 野外で活動できる
暖かい服装、かんじき
またはスノーシュー、
温かい飲み物、
リュック、懐中電灯、
長靴または丈の長い靴

※かんじきは貸出し可

申 込 2月1日(日)17時までに
ブナセンターへ電話

その他 雨天・荒天時は室内でスライドジョーなど。

講師：齋藤均氏
(北限のブナ研究所)

お問合せ・申込み 黒松内町ブナセンター 0136-72-4411